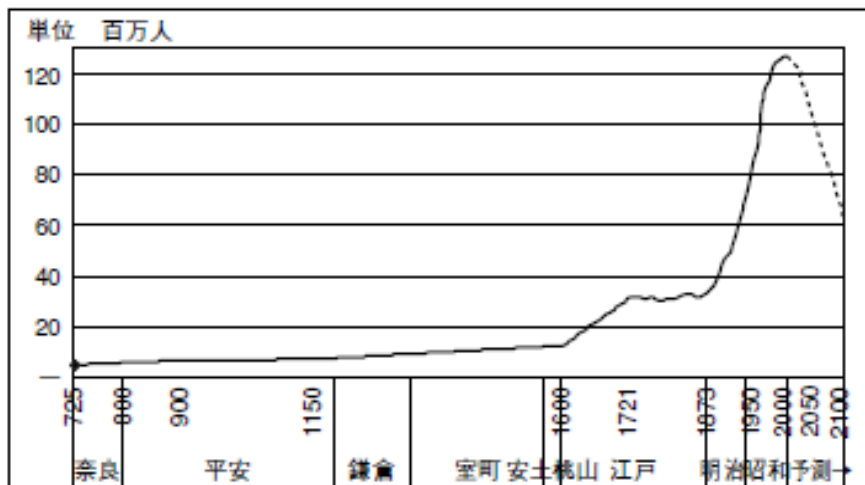


人口減少社会における地域振興

みやぎの将来ビジョンタウンミーティング大崎
日時:平成18年9月7日(木)
場所:県大崎合同庁舎 1階大会議室

第1図 日本の総人口の長期推移

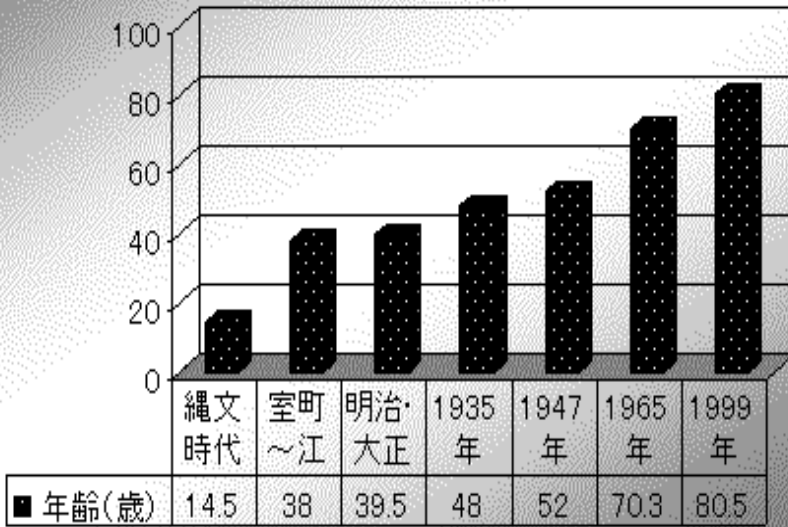


資料 鬼頭宏「人口から読む日本の歴史」

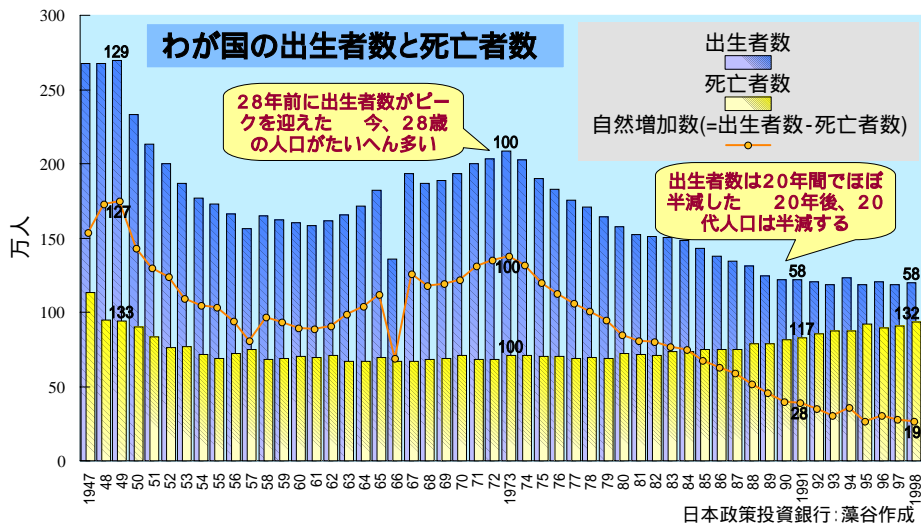
(注1) 資料記載データのグラフ化。未記載区間は2時点間を単純に直線で結んだ。

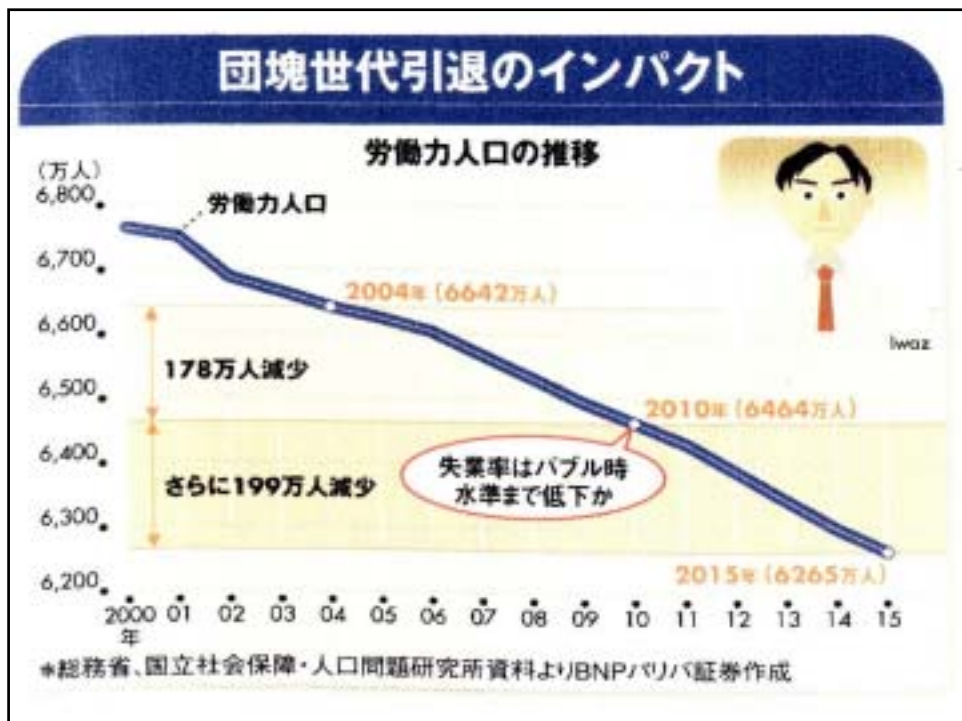
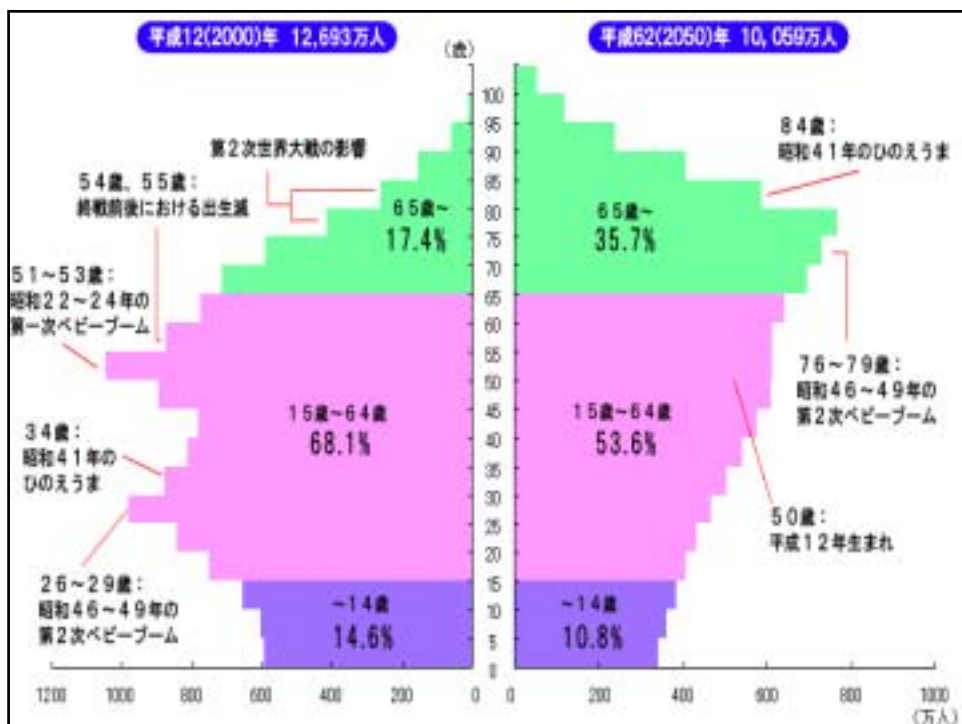
(注2) 予測値は国立社会保障・人口問題研究所の2002年1月推計値。

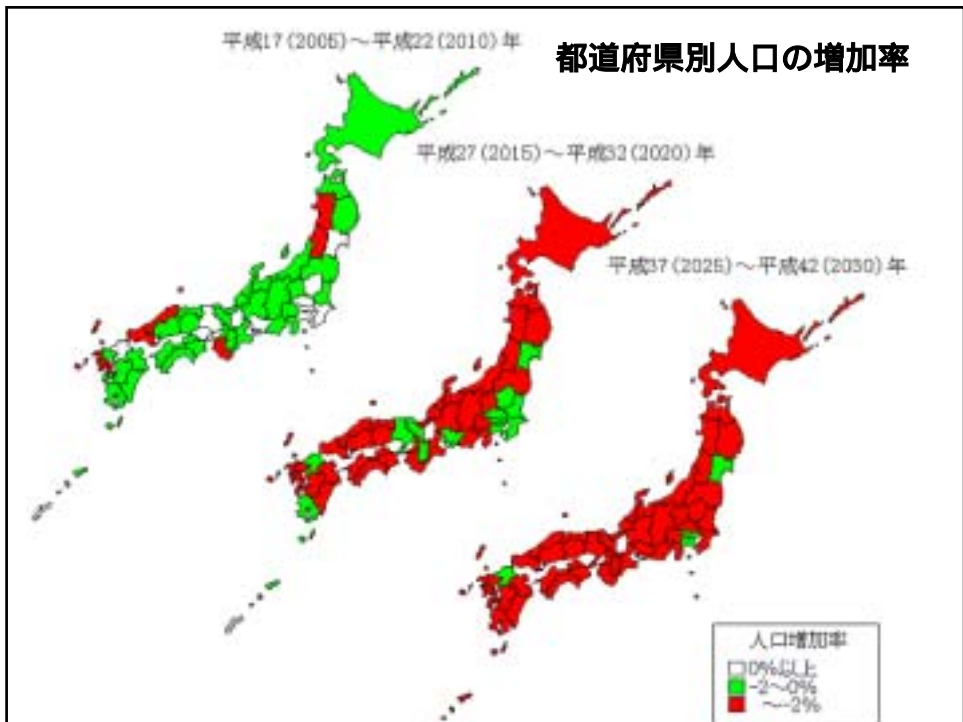
日本人の平均寿命の変化(後藤眞氏作成)
(朝日新聞、3月2日)



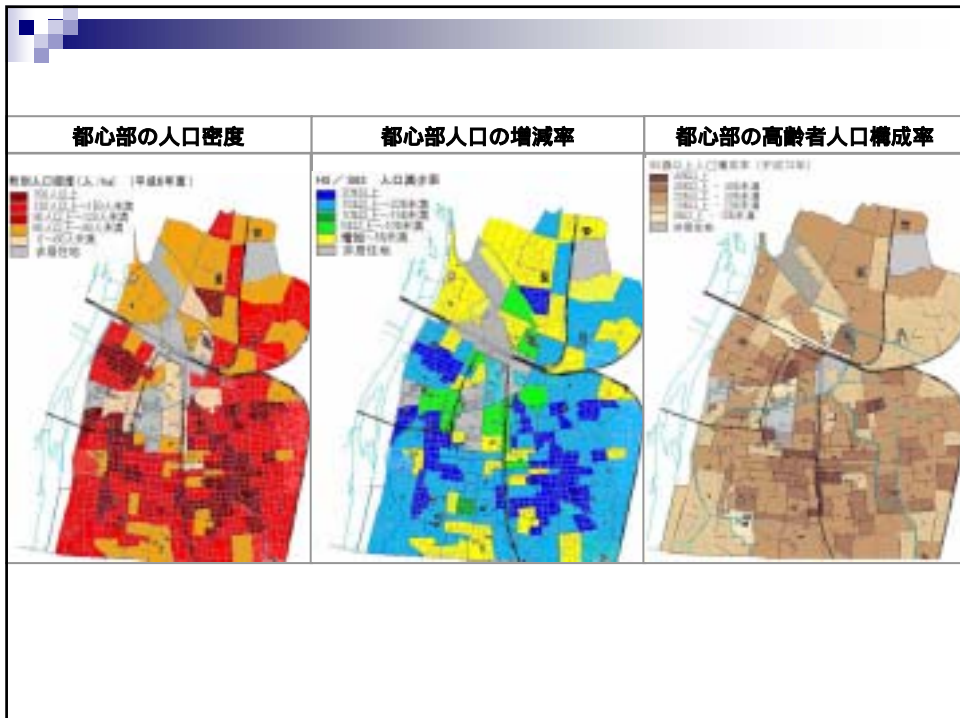
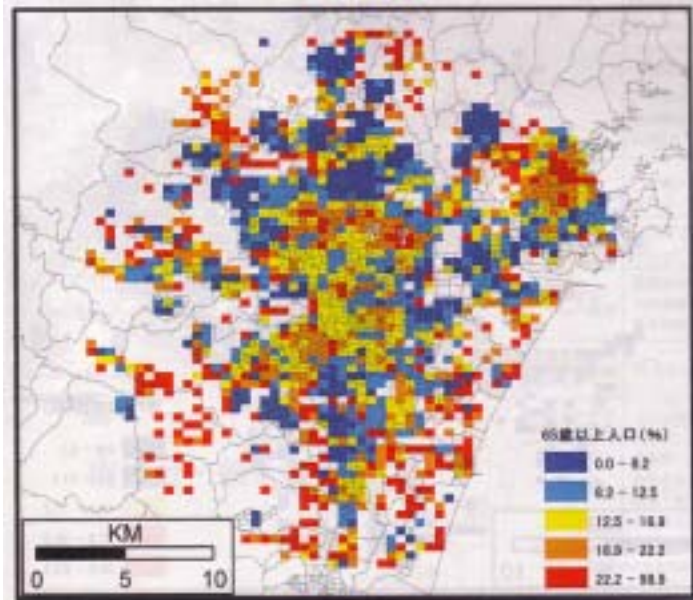
28年前から、出生者数は4割減、人口増加は8割減 もう避けられない日本の人口縮小







65歳以上人口(%)



地域の資金収支

地域内での投資・消費の余地大

都道府県別ISバランス(1997年度)

	域際収支 (移出 - 移入) (億円)	-	貯蓄投資差額 (貯蓄 - 投資) (億円)	=	財政収支 (税収 - 政府支出) (億円)	
北海道	-25,122		-63		-25,059	北海道
青森県	-4,411		2,359		-6,070	青森県
岩手県	-556		6,808		-7,264	岩手県
宮城県	-299		4,270		-4,669	宮城県
秋田県	-1,846		4,774		-6,420	秋田県
山形県	-2,942		2,546		-5,488	山形県
福島県	14,374		21,075		-6,701	福島県
茨城県	22,792		26,499		-5,707	茨城県
栃木県	17,999		20,159		-2,160	栃木県
群馬県	14,165		17,306		-3,141	群馬県
埼玉県	-15,508		-19,944		4,436	埼玉県
千葉県	-22,178		-25,493		3,315	千葉県
東京都	289,274		259,917		29,357	東京都
神奈川県	21,297		12,007		9,290	神奈川県
新潟県	-3,175		5,454		-8,629	新潟県

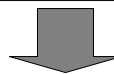
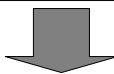
対応策：ISバランスが大きなヒントに

$$\text{財政収支} = \text{域際収支} - \text{貯蓄投資差額}$$

歳出抑制
歳入増加

赤字縮小・黒字拡大
移出の拡大

貯蓄投資差額の縮小
域内消費・投資の拡大



- ・ 他地域に売れる財・サービスの生産
- ・ 産学協働の推進、新規事業（ベンチャー）創出
- ・ 観光産業の振興、交流人口の増加
- ・ サービス業の振興
- ・ 地産地消
- ・ 凝縮居住（住みたくなるまちづくり）
- ・ ベテラン（団塊の世代）の力の活用
- ・ 市町村合併 など